

2. ごみ減量・資源化

豊橋市ではごみの発生を抑制し、再資源化を推進するため、平成12年度に「廃棄物総合計画」を策定し、22年度を目標としてごみ量の5%減量、リサイクル率28%への引き上げ、最終処分量の75%減量に向けてさまざまな施策を行っている。

(1) 地域資源回収団体奨励事業

資源回収の活性化及び再資源化を推進するため、資源ごみのうち「紙、布」を回収した団体に対して奨励金を交付するもので平成2年7月より実施している。

1) 交付対象団体

町自治会（子供会、婦人会、老人クラブ等町自治会中の組織が実施する場合も、その町自治会を実施団体とする）

幼稚園保護者連絡会

保育園保護者連絡会

小学校PTA

中学校PTA

その他市長が認めた福祉団体

2) 交付要件

登録団体が紙又は布について資源回収活動を実施し、登録業者によって回収された場合。

3) 交付額

事業協力費 1団体につき年1回3,000円、年2回6,000円、年3回以上10,000円

従量額 新聞・チラシ、牛乳パック 回収重量1kgにつき3円

雑誌、段ボール、布 回収重量1kgにつき5円

従量額の推移

平成10年度	平成11～13年度	平成14年度	平成15～17年度	平成18・19年度	平成20年度
紙、布 3円/kg	紙、布 4円/kg	紙、布 5円/kg	紙、布 5円/kg	新聞・チラシ、牛乳パック 4円/kg	新聞・チラシ、牛乳パック 3円/kg
雑誌 5円/kg	雑誌 5円/kg	雑誌 6円/kg		雑誌、段ボール、布 5円/kg	雑誌、段ボール、布 5円/kg

平成13年度は、12月補正予算により当初より1円ずつ引き上げ

暦年別地域資源回収実施状況

年度	項目	団体の状況			実施状況		新聞紙	ダンボール
		団体総数	登録団体数	申請団体数	回数	平均		
平成11年度		636 ^{団体}	392 ^{団体}	284 ^{団体}	1,262 ^回	4.4 ^回	7,810,761 ^{kg}	2,019,213 ^{kg}
平成12年度		626	398	291	1,369	4.7	7,958,252	1,982,235
平成13年度		624	403	302	1,470	4.9	7,795,269	1,955,606
平成14年度	資源回収	624	406	304	1,567	5.2	7,278,022	1,835,052
	リサイクルステーション	リサイクルステーションモデル事業			6		34,400	5,610
平成15年度	資源回収	628	424	317	1,667	5.3	6,912,684	1,787,338
	リサイクルステーション	ジャスコ豊橋南店			244		241,400	65,780
平成16年度	資源回収	628	429	314	1,945	6.2	6,339,142	1,701,309
	リサイクルステーション	ジャスコ豊橋南店・アピタ向山店			603		403,130	109,590
平成17年度	資源回収	631	436	324	2,088	6.4	6,301,537	1,663,382
	リサイクルステーション	ジャスコ豊橋南店・アピタ向山店			722		504,640	131,150
平成18年度	資源回収	634	451	330	2,083	6.3	6,099,258	1,617,259
	リサイクルステーション	ジャスコ豊橋南店・アピタ向山店			722		532,890	169,930
平成19年度	資源回収	635	464	334	2,143	6.4	6,033,657	1,649,121
	リサイクルステーション	ジャスコ豊橋南店・アピタ向山店			724		511,560	176,350
		計			2,867		6,545,217	1,825,471

平成19年度[通年]実施状況(詳細)

団体名称	項目	団体の状況			実施状況		新聞紙	ダンボール
		団体総数	登録団体数	申請団体数	回数	平均		
町自治会		445 ^{団体}	302 ^{団体}	196 ^{団体}	1,312 ^回	6.7 ^回	2,442,325 ^{kg}	530,387 ^{kg}
幼稚園母の会		28	12	11	48	4.4	38,610	9,840
保育園母の会		56	47	40	163	4.1	276,944	176,710
小学校PTA		52	52	48	169	3.5	1,972,500	531,867
中学校PTA		22	20	20	68	3.4	1,269,070	306,560
その他		32	31	19	383	20.2	34,208	93,757
合計		635	464	334	2,143	6.4	6,033,657	1,649,121

平成 20 年 3 月 31 日現在 (100 円未満切り捨て)

回 収 内 容						奨 励 金
紙			布	合 計		
雑 誌	そ の 他	計				前年対比
3,668,845 ^{kg}	68,078 ^{kg}	13,566,897 ^{kg}	802,805 ^{kg}	14,369,702 ^{kg}	1.0 [%]	63,967,500 ^円
3,568,239	76,635	13,585,361	811,275	14,396,636	0.2	64,044,800
3,550,862	68,172	13,369,909	332,192	13,702,101	- 4.8	61,358,500
3,133,173	65,865	12,312,112	137,116	12,449,228	- 9.1	68,284,100
23,340		63,350	2,450	65,800		
3,079,181	68,852	11,848,055	146,376	11,994,431	- 3.7	62,961,300
274,240	1,110	582,530	166,210	748,740	1,037.9	
2,949,290	68,882	11,058,623	129,015	11,187,638	- 6.7	58,855,700
464,880	1,540	979,140	267,450	1,246,590	66.5	
2,894,607	70,037	10,929,563	117,544	11,047,107	- 1.3	58,236,100
571,600	1,740	1,209,130	283,770	1,492,900	19.8	
2,790,796	82,077	10,589,390	115,034	10,704,424	- 3.1	50,380,700
675,600	2,290	1,380,710	293,150	1,673,860	12.1	
2,880,691	83,484	10,646,953	112,193	10,759,146	0.5	50,751,200
703,360	2,270	1,393,540	277,390	1,670,930	- 0.2	
3,584,051	85,754	12,040,493	389,583	12,430,076	0.4	

事業協力費 3,161,000 円 (334 団体)、回収従量額 47,590,200 円

回 収 内 容						奨 励 金
紙			布	合 計		
雑 誌	そ の 他	計				前年対比
1,055,095 ^{kg}	11,576 ^{kg}	4,039,383 ^{kg}	32,465 ^{kg}	4,071,848 ^{kg} (3,764,748)	8.2 [%]	19,724,100 ^円
28,200	2,945	79,595	440	80,035 (83,648)	- 4.3	461,900
138,844	17,541	610,039	4,205	614,244 (619,006)	- 0.8	3,135,700
993,698	23,345	3,521,410	36,285	3,557,695 (3,655,453)	- 2.7	16,240,000
643,384	20,142	2,239,156	36,222	2,275,378 (2,422,170)	- 6.1	10,251,500
21,470	7,935	157,370	2,576	159,946 (159,399)	0.3	938,000
2,880,691	83,484	10,646,953	112,193	10,759,146 (10,704,424)	0.5	50,751,200

* () は前年度実績

(2) 資源ごみ高度分別推進事業

一般廃棄物のなかで大きな役割を占める容器包装廃棄物を再生資源として有効利用するため、消費者、市町村、事業者がそれぞれの責任を分担、協力して排出抑制、資源の再利用を目的に平成7年6月に容器包装リサイクル法が公布され、平成9年4月から本格施行された。

本市では、ガラスびん・缶はピンカンボックスで、紙類は地域資源回収で、ペットボトルは協力店等に設置した専用容器で回収している。

プラスチック製容器包装については、従来のもやせないごみから分離し、平成11年7月からプラスチックごみ、平成18年7月からプラスチック(資源)としてステーション収集を実施している。

ピンカンボックス

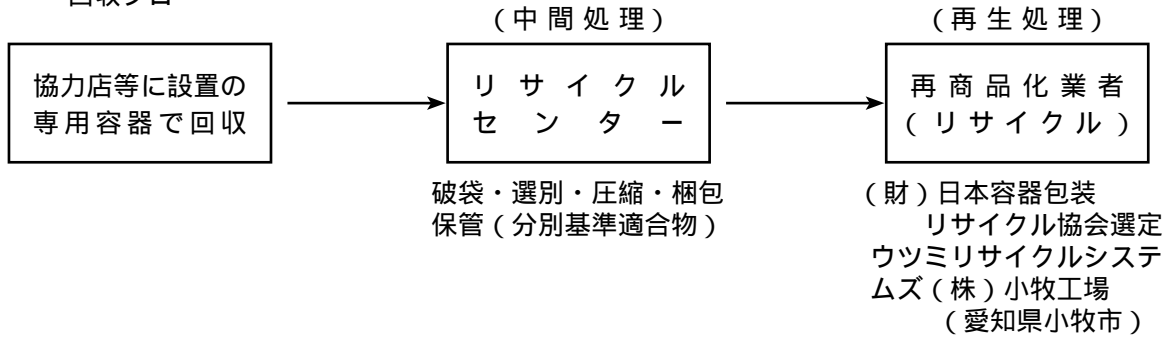
- ・設置 30世帯に1基
- ・材質 超高分子量ポリエチレン
- ・容量、規格 1,200ℓ 高さ 137cm × 幅 140cm × 奥行 105cm
850ℓ 高さ 115cm × 幅 120cm × 奥行 85cm
850ℓタイプは駅を中心とした都市景観指定区域と商業地域の双方に該当する校区に設置

・事業の経緯

年度	設置校区	備考
平成3年度	二川、二川南	ピンカンボックス(金属製)とリサイクル袋方式によりモデル事業開始
平成4年度	岩西、大清水、つつじが丘	モデル校区拡大、リサイクル袋方式を廃止、ピンカンボックスの素材を(金属製超高分子量ポリエチレン製)変更
平成5年度	細谷、小沢、幸、天伯、高豊、高師、野依、富士見、磯辺、芦原、植田	事業本格実施
平成6年度	福岡、栄、中野、岩田、豊、飯村	
平成7年度	多米、谷川、鷹丘、吉田方、汐田、牟呂、大崎、老津、杉山、下地、津田、前芝	平成6年度までの設置校区22校区分の資源回収業務を民間委託開始
平成8年度	石巻、向山、大村、西郷、牛川、東田、玉川、嵩山、下条、賀茂	平成7年度設置校区12校区分を委託追加(合計34校区)
平成9年度	松葉、花田、旭、八町、羽根井、松山、新川	平成8年度設置校区10校区分を委託追加(合計44校区) 松葉、花田、八町、羽根井、松山、新川校区は850ℓ容器を設置
平成10年度		平成9年度設置校区7校区分を追加により全市委託(合計51校区)
合計	51校区	

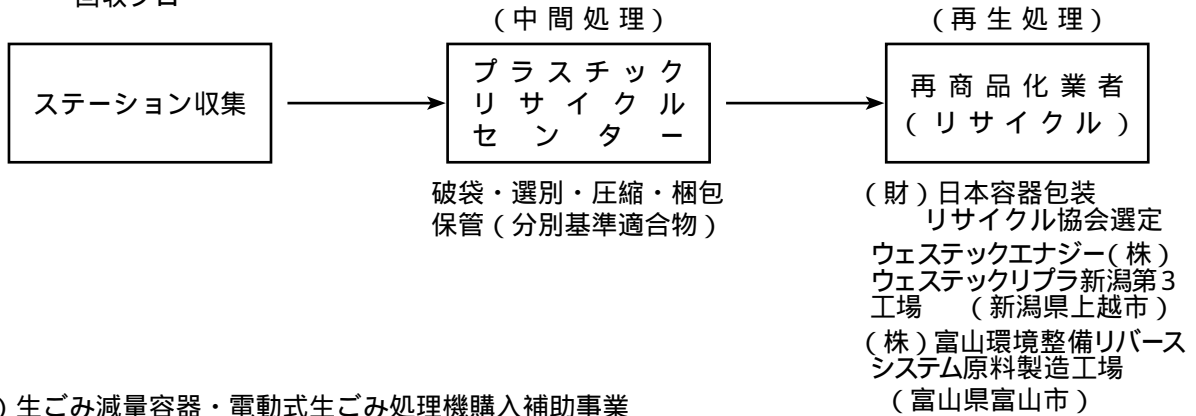
ペットボトル専用回収容器

- ・設 置 協力小売店及び公共施設
- ・材 質 スチール材
- ・容量、規格 240 ℓ 高さ 115cm × 幅 88cm × 奥行 63cm
120 ℓ 高さ 115cm × 幅 58cm × 奥行 48cm
- ・回収フロー



プラスチック製容器包装

- ・回収フロー



(3) 生ごみ減量容器・電動式生ごみ処理機購入補助事業

家庭の生ごみの減量及び減量意識の高揚を図ることを目的として、生ごみ減量容器及び電動式生ごみ処理機を購入する市民に対し補助金を交付し、普及を支援している。

生ごみ減量容器は昭和 61 年度より 3 年間実施し、平成 5 年度より再開、現在も継続推進している。補助金額は購入価格の 2 分の 1 以内とし、1 基につき 3,000 円を限度とする (1 世帯につき 2 基限度)。また、電動式生ごみ処理機は平成 11 年度から開始した事業で、購入価格の 2 分の 1 以内とし、1 基につき 20,000 円を限度とする (1 世帯につき 1 基限度)。いずれも、市内の販売店で購入したものに限る。

年 度	生 ご み 減 量 容 器			電 動 式 生 ご み 処 理 機		
	申請件数	補助基数	補 助 金	申請件数	補助基数	補 助 金
14	81	92	219,800 円	566	566	15,857,600 円
15	60	70	156,700	289	289	8,183,500
16	57	68	153,600	283	283	7,787,600
17	54	60	163,200	242	242	4,811,400
18	49	55	126,400	212	212	4,220,900
19	63	73	172,500	132	132	2,625,800
20(予 算)		60	180,000		230	4,600,000

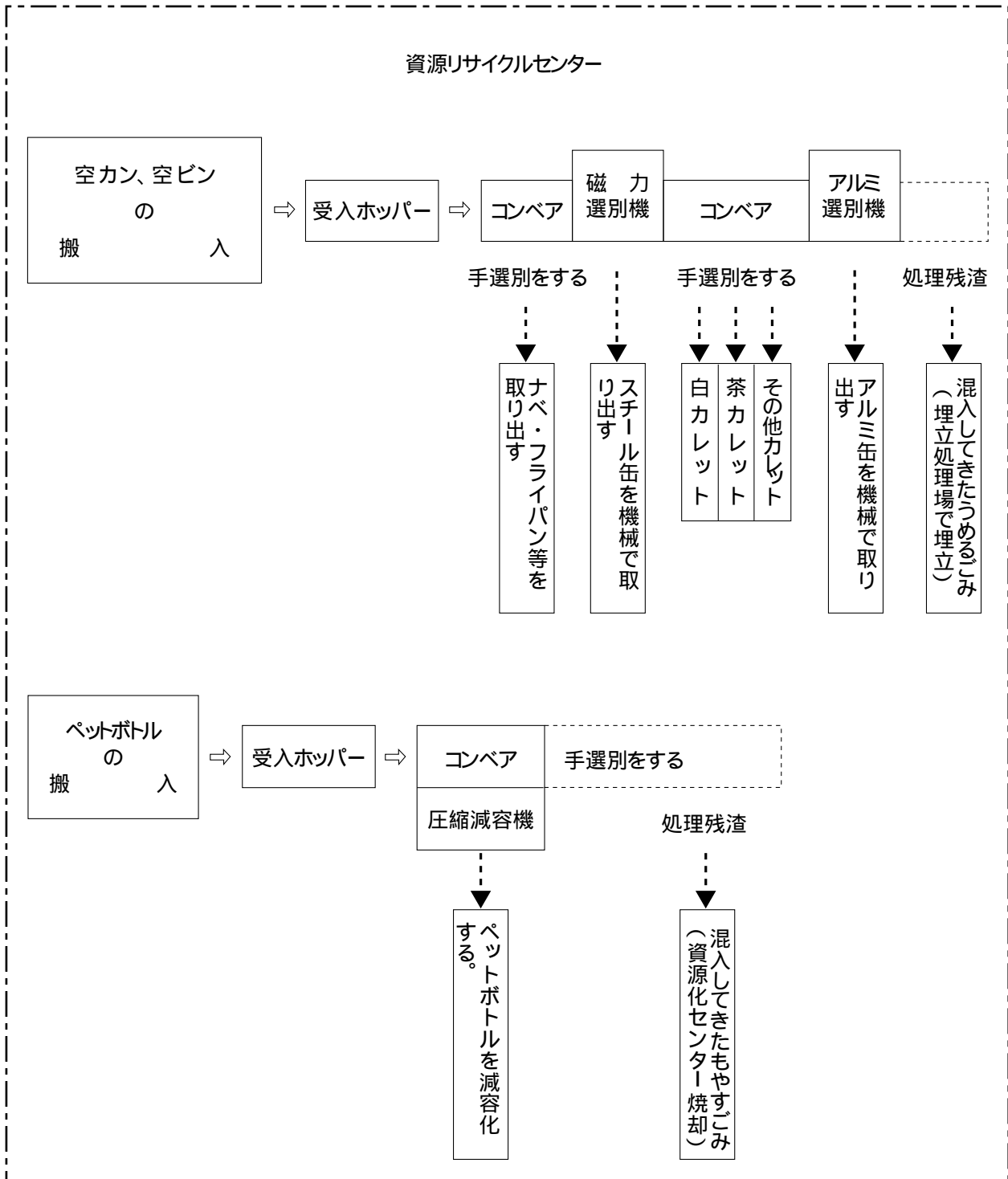
(4) 資源リサイクルセンターの稼働

資源リサイクルセンターは平成2年度に処理能力30t/日の資源(びん・カン)処理施設として稼働し、その後平成6年度に選別設備の能力アップを図るための改良工事を行い現在の処理能力は45t/日となっている。

本施設は、資源のうち、主に「空カン、空ビン」の選別を行い、付加価値を高めたうえ市場に還元するものである。

また、平成10年7月からペットボトルの再資源化の一環として、その減容化をするものである。ペットボトルの処理能力は4.2t/日となっている。

資源回収の流れ



(5) 事業系一般廃棄物減量化事業

事業系一般廃棄物の再利用を通じた減量化を推進するため、再利用及び減量に関する計画の作成と実施の指導を行い、環境の保全と資源の有効利用を図ることを目的とし、豊橋市廃棄物の処理及び再利用に関する条例第15条の規定により、一定規模以上の事業用建築物の所有者に対し、当該建築物から発生する事業系一般廃棄物の再利用を通じた減量を推進するため、毎年度減量計画書を提出させ、必要な指導・助言を行っている。また、事業系ごみ減量行動マニュアルを作成し、事業所でのごみ減量への取り組みを促進している。

(対象事業者の基準)

事務所等の延床面積が、1,000m²以上の事業用の建築物の所有者
 その他市長が必要と認める事業用の建築物の所有者

(6) ごみ減量リサイクル推進店

市内で事業活動を営み、ごみ減量化・リサイクルに取り組む店舗をごみ減量リサイクル推進店(エコショップ)として認定している。認定された店舗では、簡易包装・はかり売りの推進、リサイクル商品、詰め替え用商品の販売、牛乳パック等の回収資源化などが行われている。

(7) リサイクルステーション事業

資源回収事業の一環として、古紙と布類の回収拡大を図るため、リサイクルステーションをジャスコ豊橋南店とアピタ向山店に設置し、市民の利用に供している。

また、平成20年7月からふれあいコープあ・ん・ずにも開設している。

(8) 資源化の実績

(単位：t)

項 目		平成 15 年度	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度
資源リサイクルセンター	びんカン類	4,870	4,602	4,048	3,951	3,918
	ペットボトル	534	613	620	629	662
プラスチックリサイクルセンター 1	プラスチック	417	419	3,321	3,361	3,247
	金属類			9	8	6
リサイクルステーション等 2	古紙	650	1,017	1,239	1,410	1,421
	布類	748	1,024	970	1,104	995
資源化センター	金属類	1,858	2,231	2,286	2,427	2,262
	溶融スラグ		4,332	3,306	2,413	5,427
地域資源回収	古紙	11,848	11,059	10,930	10,589	10,647
	布類	146	129	117	115	112
最終処分場	金属類					38
資源化量合計		21,071	25,426	26,846	26,007	28,735

- 1 平成16年度までは東部環境センター
- 2 家庭収集布類を含む